

社会保険講座

医療・介護の現場で何が起きている？ その背景に何がある？
社会保険の危機に立ち向かい、人権保障の最前線で奮闘する人のための理論と実践

〔主催〕 東京学習会議
〔共催〕 東京民医連・東京民医労

現代の市場社会では、人々の生活は「賃金と社会保障」ではじめて安定したものとなる。だが、日本の社会保障は小さく弱い。貧困と生活困窮がふくれあがっている現在も、日本政府はこれをさらに縮小・解体しようとしている。

社会保障（+まともな労働条件）を本格的に再建・拡大しなければ、人々の生活と社会の危機は広がるばかりだ。生活の必要はみたされなければならない、それができる社会を作ることとは可能なはずである。この講座では、医療と介護を中心に、**社会保障の再建・拡大の考え方、政策、実践の最先端**にせまる。



講師 後藤道夫（都留文科大学名誉教授）＋ ゲスト講師
日程 6月 ① 13日、② 20日、③ 27日
毎週火曜日 午後7時～9時
会場 全労連会館3階
会費 4,000円（CD受講4,800円、音声受講3,200円）
※ CDは「音声CD」（CDプレーヤー再生用）と「データCD」（パソコン再生用）があります

第1回（6/13）カネがなくて病院にいけないーどうして？ どうする？

- 講義** 広く生じている受診抑制、手遅れ死亡、医療保険の保険料と窓口負担の現実。本来の現物給付原則、保険料支払いと保険給付は引き替えなのか？
- 報告** 受診抑制との闘いの現場から
ゲスト講師 松尾 夕美子（大田病院 医療ソーシャルワーカー）

第2回（6/20）必要な介護をきちんと提供したい！

- 講義** 介護サービスはカネで買うものか？ 介護は営利事業でいいのか？
介護保障は本来どういうもの？ 介護労働はなぜ判断権限がなく、低処遇？
- 報告** 一人一人の介護・医療の必要を見きわめて、提供するための手段を総動員
ゲスト講師 末永睦子（明星大学非常勤講師、現職ケアマネージャー）

第3回（6/27）それで成り立つの？ 福祉国家型生活保障

- 講義** 福祉国家型生活保障の原則と基本的政策枠組
- ・個人単位の所得保障：勤労者は勤労収入で。非勤労者は社会保障で。一人分暮らせない賃金の下では、最低生活保障は機能しない
 - ・基礎的社会サービス：勤労者も非勤労者も、公的責任による現物給付で。
 - ・居住の権利の保障：居住基準の徹底、公的住宅の十分な供給、住宅補助制度
 - ・富の大企業への集中を直して、大きな福祉国家財政へ

【申込先】 東京学習会議 Tel.03-5842-5646 Fax.03-5842-5647 gakusyukaigi@gmail.com http://gakusyukaigi.org

2017年 東京労働学校 第132期 社会保障講座 受講申込書 年 月 日

氏名			男・女	年齢	才
住所	〒				
電話	自宅：		携帯：		
E-mai					
受講方法	①教室受講		②音声CD受講		③データCD受講 ※音声受講はwebサイトからお申込みください
労組・団体名					

